

## 神戸市ネットモニターアンケート調査結果

|         |                                  |
|---------|----------------------------------|
| テーマ     | メリケンパーク東側入口の「フィッシュダンス」の老朽化について   |
| 調査期間    | 2024 年 7 月 24 日（水曜）～ 8 月 6 日（火曜） |
| 設問数     | 全 4 問（分岐設問除く）                    |
| 対象モニター数 | 9,809 名                          |
| 回答モニター数 | 4,860 名（回答率 49.5%）               |

### 【調査結果概要】

1987 年の神戸開港 120 年記念事業の一環として、メリケンパークの東側入口に高さ 22m の鯉をモチーフにしたオブジェ「フィッシュダンス」が設置されています。このオブジェは世界的建築家のフランク・ゲーリー氏が設計し、安藤忠雄氏が監修したもので、鉄の骨組みを金網で覆った構造となっています。

設置以後、数年ごとに塗装の塗り直しを行っていますが、海沿いに設置されていることもあり、潮風などによって短期間でさびが出てしまうという状況にあります。1987 年の設置以降、これまでに 7 回の塗り直しを行い、直近では 2014 年に実施しています。

また設置から 37 年が経過しており、このまま放置すれば劣化が進行し、金網の落下など公園利用者に危険が及ぶ可能性があります。

そこで、今後の「フィッシュダンス」のあり方について、今後の市の取り組みの参考とさせていただくため、本アンケートを実施しました。

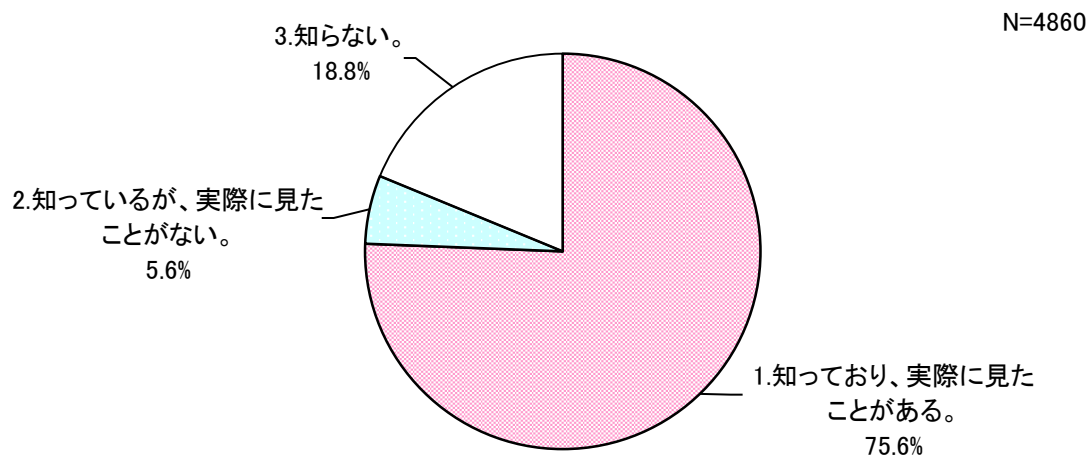
フィッシュダンスについて、約 8 割と多くの方にフィッシュダンスを認知いただいていることが分かりました。現在、フィッシュダンスに赤さびが目立っており、美観上好ましい状態ではないことについて、フィッシュダンスを「撤去する」と回答いただいた方が 53.5%、「色を塗り直す（修繕費用：約 8,000 万円）」と回答いただいた方が 17.8%、「現状のままとする」と回答いただいた方が 14.6%でした。フィッシュダンスの撤去以外を選択された方のうち、将来的に経年劣化による金網の落下など危険性が高まり、大規模改修が必要となった場合について、フィッシュダンスを「撤去する」と回答いただいた方が 43.7%、「大規模改修を実施する（概算改修費用：約 2.4 億円）」と回答いただいた方が 30.1%でした。

自由記述においては、有限な財源を適材適所に使用して欲しいといった声や、世界的建築家の作品が神戸市の中心地にあることは誇らしい、撤去して廃棄するのではなく、博物館・美術館で保管展示してほしいといったご意見をいただきました。

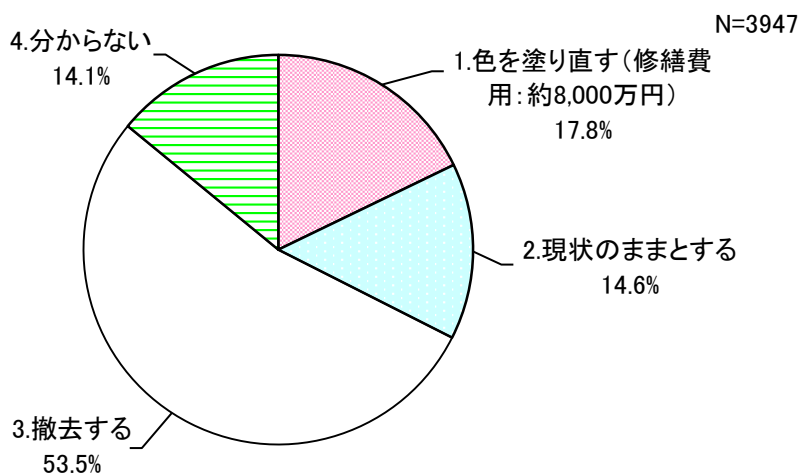
### 【総評】

全体として、多くの方にフィッシュダンスを認知いただいているものの、高額な維持費がかかることや金網の落下危険性など安全面の点から、撤去した方がよいというご意見を多くいただきました。一方で、素材やサイズ、設置場所を変えるなど、なんらかの形で残してほしいというご意見や、観光資源としての工夫やもっと PR に力を入れるべきというお声もありました。今回のアンケートでいただいたご意見を踏まえ、今後の取り組みに活かしてまいります。

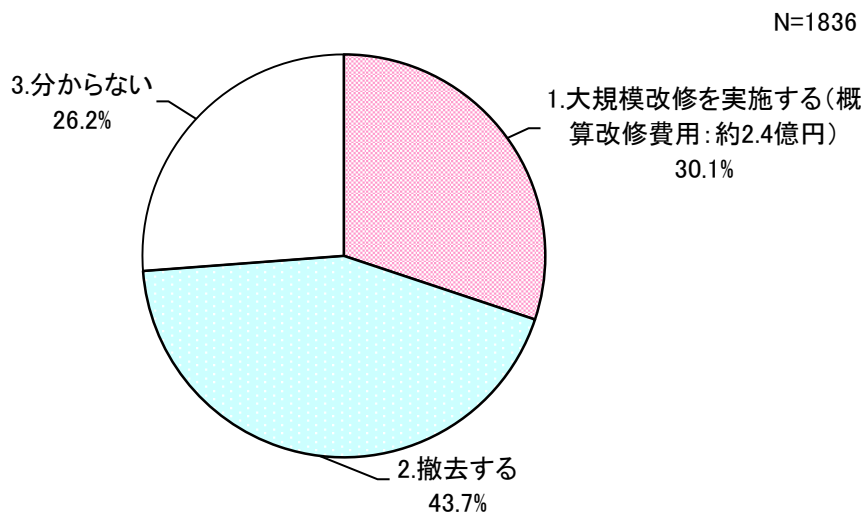
**問 1** メリケンパーク東側入口の「フィッシュダンス」を知っていますか。



**問 2** 現在、「フィッシュダンス」には赤さびが目立っており、美観上も好ましい状態ではないと考えています。今後、どのようにすればいいと思いますか。



**問 3** 将来的には、経年劣化による金網の落下など危険性が高まり、大規模改修が必要となった場合、どのようにすればいいと思いますか。



**問4** 「フィッシュダンス」について、その他ご意見等ありましたらぜひお聞かせください。

- ・今後の維持費を考えれば、修繕より撤去が望ましいと思います。
- ・有限な財源を適材適所に使用して欲しいと思います。
- ・BE KOBEのような観光名所になるようなものを新しく作ったほうがいいと思います。
- ・私の世代ではシンボリックな物で青春時代の懐かしさがありますが、今の若い人にはそこまでの物でも無いと思いますし、外国人観光客にも刺さらないと思うので撤去で良いと思います。
- ・当時はメリケンパークのシンボルだったのかもしれませんが、もう役目を終えたのではないかと思います。
- ・フィッシュダンスを目当てに観光に来る人は少ないでしょうし、他の所に費用をかける方が賢明だと思います。
- ・落下物の危険性があるのなら撤去が望ましいと思います。
- ・シンボルは簡単に撤去するべきではないと思います。
- ・多額の費用をかけて原型を維持する必要があるのかは疑問ですが、シンボリックな部分もあるので、ミニチュアの作成や素材を変更してランニングコストが節約できる方法を検討して欲しいと思います。
- ・フィッシュダンスのない風景は考えられません。予算確保が難しければ、クラウドファンディングなど企画できないでしょうか。残してほしいと思います。
- ・プロジェクトを立ち上げてオープンに今後のことを協議したり、一般事業社への売却等を検討したりしてはいかがでしょうか。
- ・世界的建築家の作品が神戸市の中心地にあることは誇らしいです。
- ・全てのものには維持費も含めて予算がかかるのは当たり前で、それを無視してただ新しい物を作れば良いとの考えに立つと、故郷への郷愁や伝統を維持できなくなると思います。
- ・外国の方達が写真を取られているのをよく見かけます。サビの色は特に景観を損ねていないと思います。倒壊の危険性をもっと詳しく調査し、危険性が高まった際に撤去または移転を行うほうがいいと思います。
- ・あまり知られていないと思います。SNS等を利用して、PRをしたらどうかと思います。
- ・有名建築家が設計・監修したオブジェであることをもっとアピールして、建築に興味のある人が訪れるような観光名所になればいいのではないかと思います。
- ・芸術作品を撤去するのはもったいないと思います。観光客が集まるような工夫をし、ポートタワーにならぶ神戸のシンボルになるようなアイデアや発想が必要ではないでしょうか。例えば、フィッシュダンスの周りにイルミネーションや風鈴等の回廊を設置するなどして、写真映えするような工夫をしてはいかがでしょうか。
- ・フィッシュダンスをガラス等で囲うのは難しいでしょうか。唯一無二の建造物で、無くなるのは残念です。
- ・塩害を受けにくい場所に移して展示することも検討してはどうかと思います。
- ・撤去して廃棄するのではなく、神戸市ないしは兵庫県の博物館・美術館で保管展示してほしいです。安易な廃棄は資産の喪失につながると思います。
- ・記念碑などは否定しませんが、コストを考えなかった実例（負の遺産）として語り継ぎ、今後の「記念事業」の計画の際に生かしてほしいと思います。

全2,249件のご意見をいただきました。ありがとうございました。

【参考】回答者属性

